

【教官のヘルスチェックシート】

教官の教育マニュアルWG

教官自身が、自らの当日の健康状態を確認する事を目的として、以下の文例のような“ヘルスチェックシート”を作成し、訓練開始前に学生から提示させる。

[文例]

本日はお忙しい中、訓練のご指導有り難うございます。以下の内容につき、ご自身のご体調を確認していただき、決して無理をせず、体調不良の時はご遠慮無く休憩時間をとって下さい。

航空身体検査の期限は有効ですか？

「I'M SAFE」は大丈夫ですか？

Illness (病気) 通常の病気だけでなく、健康レベルの低下も含まれます。頭痛、発熱、鼻詰まり、その他不快感、二日酔いなど。

Medication(薬) 薬の中には副作用のあるものもあります。眠気、目のぼやけ、アレルギー症状など。

Stress(ストレス) 誰もが時々ストレスにさらされます。イライラでは冷静な判断ができません。

Alcohol(アルコール) 身体に残るアルコールはいかなる少量でも悪影響を及ぼします。高空では酸素の欠乏によって影響は増幅されます。

Fatigue(疲労) 睡眠不足、飛行前の長時間運転、別の飛行(長時間、多数回)などで疲れていては集中力が低下します。休憩と取って下さい。

Familiarity(慣熟) 最近飛行していますか？フライトマニュアルを最近読み直しましたか？非常時への対処は大丈夫ですか？

Eating(食事) 食事をしないと血糖値が下がり、集中力が低下します。水分を失うと動作が不能になります。

以上です。上記項目をご確認の上、本日のご指導よろしくお願い致します。

『ヒヤリ・ハット』レポート（妻沼訓練日報）について

2005.6.16

教官の教育マニュアルWG

安全対策の一環として、下記の目的で当日の各校の責任教官が日々の訓練日報（別紙）を記入保管する。

【目的】

- ・ 事故を予防するために、当日起こった事故には至らないヒヤリとしたことハットしたことを日報カード形式で記入し教官同士の情報の共有を図る。
- ・ 雷雨、前線通過等の気象の急激な変化も記入し、翌日以降の教官への申し送りとしても活用出来るものにする。
- ・ 運航方法や施設、設備等に対する改善の要望や、安全運航に対する提案事項も記入出来るものにする。

【意味のある情報・有効な安全対策のために】

- ・ 全教官がお互いの情報を有効に共有するため、ヒューマンエラー（自らの判断・確認ミスや失敗例）を含め、正直に出来る限り正確に記入する。
- ・ その為にも、この報告内容については、責任の追及はしない事を前提とする。
- ・ 日報は、事務所等にリングファイルにて保存し、全教官が何時でも閲覧可能な状態で管理する。
- ・ 報告内容から、早急に対策が必要な事項や全体に通知する事が必要な事項については、学連より各校教官へ **ML** により情報提供する。 **また、緊急でないものは定期的(1~2週間毎)に有用な情報を選択し、上記と同様に ML により情報提供する。**
- ・ **3ヶ月に一度、ファイルの内容確認と整理を行い、記録として残すべきもののみを保管する。**

(別紙)

『ヒヤリ・ハット』レポート(妻沼訓練日報)

年月日	20 年 月 日()	記入者名	(大)
滑走路	1. 第一土手 2. 第一川 3. 第二	大学名	
気象状況	A.M (天候) _____ (風向風速) _____ m/s ~ _____ m/s	P.M (天候) _____ (風向風速) _____ m/s ~ _____ m/s	
ヒヤリ・ハット情報 雷雨等の時刻 提案事項	1. 特になし 2. 申し送りあり 内容 - 自由記述		

- 1 上記日報は、訓練終了後に各滑走路使用大学の責任教官がご記入下さい。
- 2 ヒヤリ・ハット情報は、教官同士の情報共有の為、事故や異常運航にまでは至らなくても教官が感じた危険な状況等があった場合、是非ご記入下さい。